

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 20.3.21 第 169 回国会第 4 号

3月21日、第4回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。
理事 西 博 義君（公明）（理事富田茂之君今 21 日委員辞任につきその補欠）

2 公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 19 号）

- ・渡海文部科学大臣、山本内閣府副大臣、松浪文部科学副大臣、中山外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・石井郁子君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成 - 自民、民主、公明 反対 - 共産、社民）

（質疑者及び主な質疑内容）

牧 義 夫君（民主）

- ・主幹教諭の配置に伴う 1,000 人の教員の増員は「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」（以下「行革推進法」という。）の教職員の純減規定に抵触しないのか、大臣の見解を伺いたい。
- ・既に主幹制が導入されている東京都においては、希望者が減少している事例も見られる。主幹教諭制度導入に際して、文部科学省はこの状況をどう分析、検証したのか。
- ・新たな主幹教諭制度の導入には国として都道府県に対し、財政的な配慮がしっかり行われる必要があると考える。平成 20 年度から主幹教諭の配置を予定している都道府県が 12 都府県と少ないことについて、文部科学省はその原因を把握しているのか。

田 島 一 成君（民主）

- ・平成 20 年度予算案における主幹教諭の配置に伴う 1,000 人の教員の増員、退職教員等外部人材を活用する 7,000 人の非常勤講師配置など子どもと向き合う時間の拡充のための措置は平成 21 年度以降も行われる見通しなのか。
- ・精神性疾患を原因とする教員の病気退職者が増加傾向であることについて、文部科学省はその原因を把握しているのか。また、改正労働安全衛生法により、職場におけるメンタルヘルス対策の充実が規定されたが、文部科学省としてどう取り組んでいくのか。
- ・北海道の公立小中学校における教頭試験の受験者数が減少しているとの調査結果が出ているが、全国的な調査を行う予定はあるのか。
- ・教頭試験の受験者数が減少していることから、新たに配

置される主幹教諭の人材確保が十分できるのかという懸念が生じる。役職に見合う能力、人材確保策について、文部科学省はどのように考えているのか。

石 井 郁 子君（共産）

- ・平成 19 年の学校教育法の一部改正において副校長や指導教諭の設置についても規定されたにも拘らず、今回、主幹教諭の配置に係る加配のみが措置された理由について伺いたい。
- ・主幹教諭の担当授業等を受け持つ人材として、都道府県の判断により教員に代えて非常勤講師を置くことも可能であることから、教育の質の低下が懸念されるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・教員の子どもと向き合う時間の拡充のため、今後どのような施策を進めるのか。また、教職員定数の改善に向けての大臣の決意を伺いたい。

飯 島 夕 雁君（自民）

- ・主幹教諭に求められる役割とは何か。また、主幹教諭と現在置かれている主任との違いについて確認したい。
- ・東京都等主幹制を先行的に導入している都道府県において、主幹昇格後、個人的な事情等から一般教員への降格を希望する者が存在していること等を踏まえ、主幹教諭から一般教員への降格については弾力的な運用が必要であると考えますが如何か。
- ・主幹教諭の全国的な普及に向けての大臣の見解を伺いたい。

西 博 義君（公明）

- ・行革推進法の枠内で、平成 21 年度以降どのような形で教職員定数の改善に取り組んでいくのか。今後の展望と決意について伺いたい。
- ・平成 23 年度以降に完全実施される新学習指導要領は、平成 21 年度以降、一部前倒しで実施されるとのことだが、移行期間中に使用される教科用図書等は、今後どのように準備されることとなるのか、大臣に伺いたい。
- ・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）等における取組の成果について、当該高校の指定期間終了後の教育や他の高校における理科教育に活かすため、情報を共有できるような制度を構築する必要があると考えるが、大臣の見解を伺いたい。

日 森 文 尋君（社民）

- ・行革推進法が教職員の純減について規定する一方で、中央教育審議会は教員の子どもと向き合う時間を拡充すべきと提言しており、両者に乖離が見受けられるが、文部科学省はどのように受け止めているのか。
- ・教員の管理体制強化や階層化等により、精神性疾患を原因とする教員の病気休職者が増加傾向にあるが、新たな管理職である主幹教諭の配置は、教育現場を萎縮させる懸念がある。大臣の見解を伺いたい。
- ・教員の子どもと向き合う時間の拡充のためには、主幹教諭の設置よりも、少人数学級の実現が効果的だと考えているが、大臣の見解を伺いたい。